

## ■ 第3回北海道脱炭素モデル地域構築懇話会（12月27日）

議 題	頂戴した主なご意見	対 応	
(1) 地域支援 の 方向性 について	土台 づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の合意形成が非常に重要である。住民合意を含めた先行事例から学ぶことも多いため、そうした情報も有用である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>道内先行地域へのヒアリングを実施。報告書で整理予定。</li> </ul>
	研修・ セミナー	<ul style="list-style-type: none"> <li>研修やセミナーに施設見学を組み合わせることで、実際の施設を確認する機会を設けることが望ましい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>次年度事業の中で、実施について検討する。</li> </ul>
	計画 づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>区域施策編だけでなく事務事業編も含めて活用を支援すべき。</li> <li>未着手と検討段階の間のアウトプットとして「ゼロカーボンシティ宣言」を位置づけてはどうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員勉強会等を通じて策定・改訂を支援。</li> <li>【資料2-1】に反映。</li> </ul>
	計画の 実行	<ul style="list-style-type: none"> <li>官民連携で進めることが有効であり、産官学金でプラットフォームを構築することで共創できる場を設けることが考えられる。</li> <li>先行地域に道内自治体が選定されるための支援として、情報共有が必要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ゼロカーボン推進協議会や次年度事業の中で実施を検討する。</li> <li>ゼロ北テラスや国のタスクフォースを連携して実施を検討する。</li> </ul>
(2) 分野別 将来 イメージ について	全般	<ul style="list-style-type: none"> <li>すぐ取り組めるもの、将来取り組むもの等時系列の整理ができれば。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【資料3】全体に反映。</li> </ul>
	畜産	<ul style="list-style-type: none"> <li>農水省のみどりの食糧システム戦略等の将来像と照らして、食糧生産段階から流通段階を含めたものとすることや、適応策との関係も盛り込むことが望ましい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【資料3-2】に反映。</li> </ul>
	水産	<ul style="list-style-type: none"> <li>将来イメージが漁村の実態と乖離していることが懸念される。実態を踏まえた表現を用いる検討が必要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【資料3-4】に反映。</li> </ul>
	観光	<ul style="list-style-type: none"> <li>間接的な取組としてオーガニックの推進等も含めてトータルに取り組み付加価値を高めることが重要。食に関する認証制度の枠組みで活用できるものを追加されたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【資料3-5】に反映。</li> </ul>
(3) 情報の 可視化 について	情報の 内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>区域施策編で求める必要のある項目との関係性についてより明確にする必要がある。</li> <li>追加可能な情報については引き続き検討を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【資料4-1】に反映。</li> </ul>
	利用 方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>2030年や2050年の目標値も入れて、減らすCO<sub>2</sub>の量が見えるようにすると、使いやすいのではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【資料4-2】に反映。</li> </ul>

## 本事業の進め方

- ① 脱炭素化の進捗や地域課題の分野に応じた**支援施策を整理・提示**。また、**地域支援のあり方を検討**。
- ② 地域産業などの分野ごとに**将来イメージを例示**。
- ③ 脱炭素化に向けた施策を行う際の**基礎となる市町村ごとの情報を収集し、可視化**。

### ① 支援策

### ② 将来イメージの例示

### ③ 情報の可視化

第2回懇話会  
10月29日

たたき  
台

アンケート  
調査結果

第3回懇話会  
12月27日

支援の  
方向性

たたき  
台

たたき  
台

第4回懇話会  
(本日)

案

資料2-1  
資料2-2

案

資料3-1  
資料3-2  
資料3-3  
資料3-4  
資料3-5  
資料3-6

案

資料4-1  
資料4-2  
資料4-3

各アウトプットの  
活用方針

資料5

- 市町村が取り組みたい脱炭素関連事業と紐付く補助メニューが即時に理解可能なツールとして市町村に展開し、各種補助事業の活用を促進。

- 地域課題を同時解決可能な分野毎に国や道の支援策と連動した脱炭素イメージを作成・展開することで、同様の課題を抱える自治体の脱炭素化の検討手段として活用。

- 再エネポテンシャル・GHG排出量等を可視化・展開することで、各自治体の現状と可能性を認識させる脱炭素意識醸成ツールとして活用。